

## 第1部

# ふるきゅらバラエティショー

若手俳優による

ミニミュージカル **ふるさとの青春** 恋愛編

『日本人の暮らしの中でミュージカル!』を掲げ多くのオリジナル作品を生み出し続けた故・石塚克彦。その原点となったミュージカル「ふるさと」を基に構成。急速に変化する時代。その中で精いっぱい生きる青年たちの恋と、ふるさとへの思いを、ナンバーにのせ、描いたミニミュージカルです。

小金井市民の皆さんによる

民話朗読劇 **石の正兵衛さん**

長野県下伊那郡に伝わる民話。犬と猫と蛇と暮らす正兵衛さんは、自分が食べ物にこまっけていても、この3匹にはひもじい思いをさせない、心優しいひとでした。ある日、殿さまから意地の悪い命令が・・・昔より人から人へ口伝えに語られてきた民衆のものごとである民話。地元小金井市民の皆様が演じます。

## 第2部

ミュージカル  
バラエティ

# 稲むらの火

1854年安政の南海地震に際して復興に挑んだ  
紀州広村の濱口梧陵と村人たちの 実話に基づく物語



## STORY

紀州広村（現・和歌山県広川町）で生まれた濱口梧陵は、12歳の時に本家の養子として銚子（現・千葉県）に移り、家業である醤油製造販売・広屋（現・ヤマサ醤油）の事業を継ぎました。

### 安政の大地震・津波が 突然、村を襲う

彼が広村に帰郷していた時、突如大地震が発生し大津波が紀伊半島一帯を襲いました。

彼は収穫したばかりの稲の束「稲むら」に火を放ち、この火を目印に高台の安全な場所へ村人を誘導、避難させ、命を守ることができました。しかし村には大きな爪あとが残りました。

### 100年後のふるさとを守る

梧陵は、故郷の復興のため私財を投げ打って、「100年後のふるさとを守るため」村人達と共に堤防の建設に着手しました。4年の歳月、延べ人員56,736人、銀94貫を費やして全長650m、幅20m、高さ5mの大防波堤「広村堤防」を築きあげました。



### ミュージカルカンパニー ふるきゅら とは…

劇団ふるさときゅらばんの創立から33年間、作・演出家の故・石塚克彦と共に創ってきた“ふるきゅらミュージカル”のスピリッツを原点とした創造集団です。

石塚とコンビを組んできた脚本・演出家、振付師、俳優、プロデューサー有志が発起人となり、2016年1月に結成されました。

生演奏、ミュージカルの形式で誰もが共感でき、楽しめ、時代のメッセージを発信する舞台を創ってゆきます。

### お客様のアンケートより

- こんなに楽しくて元気をもらえるミュージカルははじめて。(53 オパート事務)
- 実話であることに心打たれた。(48 才女性)
- ふるさとを思う心は人をも動かす！感動した。(病院職員)
- 役者のキャラが親しみやすかった。(51 才会社員)
- タイムリーな災害の話で考えさせられた。(42 才会社員)
- ミュージカルは学校の勉強より勉強になった。(19 才学生)

ガイドラインに沿った新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じ、お客様に安全に観劇して頂きます。